


分野	43	産業	<b>通番 103</b>
施策	432	営農支援	
<b>5年後の目標</b>		農地の保全と農家経営の安定の支援と、市民や多様な関係団体と連携した地産地消が進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>特産物育成事業</b>		会計	款	項	目	2,654,244	農林振興課
			一般	6	1	3		
事業の概要								
生産から販売までを支援することにより、特産物の価値を高め、生産の安定、農業所得の向上、担い手の確保や農地の保全を図ります。								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	特産品(花菜、ナス、タケノコ)出荷量				単位	t
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	花菜58t、ナス181t、タケノコ173t (平成26年度)	目標	前年度を下回らない	前年度を下回らない	前年度を下回らない	前年度を下回らない	前年度を下回らない
		実績	花菜53t、ナス190t、タケノコ180t	花菜 37t、ナス165t、タケノコ122t	花菜51t、ナス133t、タケノコ164t	花菜48t、ナス151t、タケノコ101t	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産物の栽培技術、品質向上を図るため、「花菜」「ナス」の品評会を開催しました。</li> <li>・環境負荷の少ない農業の推進と特産物の高付加価値化を図るため、花菜、ナスの栽培における、剪定枝を有効利用した独自の有機肥料の購入に対して補助しました。</li> <li>・耕作放棄地対策や農業生産の安定化、効率化を図るため、長岡京市農作業受委託組合へ、農作業用機械(コンバイン)の購入に対して補助しました。</li> </ul>					花菜		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和元年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		主要作物(花菜、ナス、タケノコ)の出荷量			豊作や不作の年があるものの、農家数、農業就業者数、農地面積の減少から、出荷量は微減傾向にあります。	206
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産の安定化、効率化及び特産物の高付加価値化を図るため、農業機械や有機肥料購入に対する補助等を行いました。</li> <li>・令和元年度については、タケノコは不作の年となり、出荷量は前年より減少しました。</li> </ul>		
課題等	・農業就業者の高齢化に伴う担い手不足と新規就農者の確保が課題となる。					

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナス・花菜については、水田転作作物の中でも「地域振興作物」と位置づけ、栽培の促進を図ります。</li> <li>・京都乙訓農業改良普及センターやJAと連携して栽培管理の徹底を図ることで、特産物の収量や秀品率の向上に努めます。</li> </ul>

分野	43	産業	<b>通番 104</b>
施策	432	営農支援	
<b>5年後の目標</b>		農地の保全と農家経営の安定の支援と、市民や多様な関係団体と連携した地産地消が進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>地産地消推進事業</b>		会計	款	項	目	1,613,388	農林振興課
			一般	6	1	3		
事業の概要								
食育と農業振興の観点から地産地消推進協議会が核となり、地元産農林産物の需要と供給のバランスを勘案しつつ納入等販路と地域内消費の拡大を図ります。								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	地元産農林産物の学校給食への納入実績金額				単位	万円
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	832(平成26年度)	目標	888	916	944	972	1,000
		実績	962	740	720	963	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大を図るため、市内スーパーヘインショップ出店を継続しました。</li> <li>・学校における食育推進活動の一環として、地元産農産物を使用した料理講習会を実施しました。</li> <li>・小中学校給食への地元産農産物の安定供給のため、納品調整を行いました。</li> <li>・保育所給食への地元産農産物の供給を令和元度も試行的に実施しました。</li> <li>・地元産農林産物に対する市民の理解を深めて、地産地消の推進を図るため、農業祭を開催し、品評会や即売会等を実施しました。</li> <li>・地元産野菜の普及を目的に親子料理教室「ベジ食べる講座」を野菜ソムリエの講師を招き、実施しました。</li> <li>・直売所マップを市民により活用してもらうため、内容の更新を行い、各公共施設に配架すると共にホームページへも掲載し直売所の利用を促進しました。</li> </ul>					ベジ食べる講座		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和元年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校給食への地元農産物を少しでも多く供給する為、納品者へ作物の生育状況を聞き取り、各学校で納品ロスが出ないように納品調整を行いました。</li> <li>・保育所給食、市内の病院への地元産農産物の供給や市内スーパーへのインショップ継続出店による販路拡大に取り組むとともに、農業祭や料理講習会、「ベジ食べる講座」の実施により地元産農産物をPRして地産地消を推進しました。</li> </ul>	
	課題等	・学校からの発注に対して全量納品出来る体制を図る必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食への納品率を向上させるため、新規納品者の募集や給食で使用する新規納品作物の検討を行います。</li> <li>・直売所マップ等の利便性の向上を図り、市内農産物のPRの充実に努めます。</li> </ul>

分野	43	産業	<b>通番 105</b>
施策	432	営農支援	
<b>5年後の目標</b>		農地の保全と農家経営の安定の支援と、市民や多様な関係団体と連携した地産地消が進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>鳥獣対策事業</b>		会計	款	項	目	1,469,584	農林振興課
			一般	6	2	1		
事業の概要								
西山一帯に設置した防護柵の効果的な維持管理と野生動物の駆除を行うとともに、猟友会への活動支援と鳥獣捕獲の連携強化を推進し、農作物の被害軽減を図ります。								

令和元年度の取組							
D (取組)	指標	鳥獣による農作物の被害面積				単位	a
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	195	187	161	153	145
	203(平成26年度)	実績	177	187	303	209	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣捕獲でイノシシ3頭、シカ6頭、カラス8羽の実績がありました。</li> <li>・平成21年度から実施している広域捕獲（京都市、大山崎町との連携事業）により、イノシシ4頭、シカ8頭を捕獲しました。</li> <li>・農家組合長連絡協議会と連携して金網防護柵の点検・補修を行うとともに、維持管理に対する資材費等の支援を行いました。</li> <li>・長岡京市鳥獣被害防止計画について、最新の傾向等を反映させ策定しました。</li> </ul>				金網防護柵の点検	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和元年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—			—
C (評価)	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓猟友会との連携を強化し効率的な捕獲を実施することで、個体数管理を行いました。</li> <li>・農家への聞き取り等で農作物被害状況を把握すると共に、農家組合長連絡協議会と連携して金網防護柵の維持管理を徹底しました。</li> <li>・上記の取り組みにより一定の成果が出ていますが、京都市側の金網防護柵の復旧が進んでいないこと等から被害が継続していたため、早期復旧について京都市に働きかけを行い令和2年3月に修繕を実施されました。</li> </ul>	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依然として農作物被害が発生しており、有害鳥獣捕獲事業等の取り組みにより、有害鳥獣の個体数調整や金網防護柵の維持管理を継続的に実施していく必要があります。また、金網防護柵の一体的な維持管理を図るため、隣接する他市町と連携を図る必要があります。</li> </ul>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域に設置している金網防護柵について、野生鳥獣や自然災害等により破損する可能性があるため、（地域ぐるみで防護柵の点検、修繕及びパトロールを実施するための体制強化を行うなど、）定期的な点検の体制を整えます。</li> <li>・金網防護柵の修繕に必要な資材費等の支援や、農業者等への技術的指導を進めていきます。</li> <li>・隣接する他市町と情報共有を行い、金網防護柵の一体的な維持管理の効率化を図ります。</li> </ul>